



松陵の丘

～笑顔☆チャレンジ☆思いやり～

協働型学校評価重点目標|相手と目を合わせて、笑顔で挨拶できる子供の育成
ホームページアドレス <http://www.sendai-c.ed.jp/~izshoryo/>

仙台市立泉松陵小学校
令和元年 7月16日
臨時号
児童数 367名
電話 375-9531
FAX 375-9519

「泉松陵小学校いじめ防止等基本方針」改定に向けて

本年4月1日に「仙台市いじめの防止等に関する条例」が施行され、併せて「仙台市いじめ防止基本方針」が改訂されました。仙台市内全ての各学校では、「学校いじめ防止等基本方針」について、条例の施行及び市基本方針の改定を踏まえ、「学校いじめ防止等基本方針」の改定に向けた取組を進めています。

先日は、学校関係者評価委員会にて、学校がいじめ防止対策について総点検を行い、「学校いじめ防止等基本方針」の改定に向けたご意見をいただきました。いじめを未然に防ぐとともに、早期発見・早期対応に結び付けるのが、いじめ防止対策組織の役割となっています。その機能を発揮させるためには、教員だけの組織では限界があります。学校に配置されているスクールカウンセラーはもとより、家庭や地域の協力を得て情報を共有したり、家庭や地域の代表も参加する組織を構築したり、それぞれの立場で、いじめ防止の方策を考え、連携・協働して、いじめ根絶に取り組んでいく必要があります。

今年度、ふれあい面談を通して、子供たち一人一人が担任に話を聞いてもらったり、かかわったりする時間を設定しました。また、「つらいことや困ったことが起きたとき、周りの大人にして欲しいことは何か？」という調査では、以下のような回答がありました。子供たちが、学校や家庭、地域の大人にしてもらいたい切なる願いがあることが分かりました。

そこで保護者の皆様や地域の皆様からも、大人の役割について、ご意見を頂戴し、その上で「学校いじめ防止基本方針の改定」を検討していきたいと思えます。保護者の皆様、地域の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

つらいことや困ったことが起きたとき、周りの大人にしてほしいことはありますか！？

(仙台市教育委員会 平成30年度「いじめ実態把握調査」 泉松陵小学校児童の意見)

学校の先生に・・・	家族に・・・	地域の人に・・・
<ul style="list-style-type: none"> ・助けてほしい。話を聞いてほしい。 ・守ってほしい。声を掛けてほしい。 ・事情を聴いてほしい。 ・相手に謝るように注意してほしい。 ・厳しく注意してほしい。 ・いじめた人の家に連絡してほしい。 ・どうしたら良いか教えてほしい。 ・解決方法を一緒に考えてほしい。 ・仲直りの手伝いをしてほしい。 ・注意してほしいけど・・・。 	<ul style="list-style-type: none"> ・助けてほしい。話を聞いてほしい。 ・気が付いてほしい。 ・相談にのってほしい。 ・話を聞いて一緒に考えてほしい。 ・相手には言わないでほしい。 ・学校に電話してほしい。 ・先生に伝えてほしい。 ・いじている人に注意してほしい ・怒ってほしい。 ・今はよく分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・助けてほしい。声を掛けてほしい。 ・はげましの言葉をかけてほしい。 ・見守ってほしい。 ・話を聞いて対応してもらいたい。 ・様子を見てほしい。 ・優しくしてほしい。 ・味方になってほしい。 ・仲良くなってほしい。 ・学校へ電話をするなどしてほしい。 ・怒ってほしい。

キリトリ

「泉松陵小学校いじめ防止等基本方針」の改定に向けた保護者・地域の意見

【 保護者 ・ 地域 】 氏名 _____ (児童氏名 _____)

※どちらかを○で囲みください。

「今後、保護者(地域)として、できることは何ですか？」 (7月末日までお寄せください。)

※保護者の皆様は、お子さんに持たせていただくか、個別面談時にご提出願います。

※地域の皆様は、学校のポストへの投函、またはFAX(375-9519)にてご意見をお寄せください。

★ 学校のいじめ防止対策等の取組 ★



校長による絵本の読み聞かせ



挨拶運動（児童会）



いじめをなくそう児童集会



全校 なかよし活動



道徳等による授業実践



地域連携の取組

学校評価関係者委員会～学校のいじめ防止対策について～

- 道徳の授業がすごくよかった。いじめについてかなり細かく取り組まれていることが分かった。
- 小学生でもスマホやタブレットを使っている子が多く、親として心配だが、どうしてよいか分からない。5・6年の授業で、スマホ教室が開催され、とてもありがたいと思った。
- 児童が本気でけんかしている姿を見た。核家族化、少子化の世帯が多く、子供たちは、けんかの仕方や、納め方も分からないのでは！？ コミュニケーションスキルを身に付けることが大切であると思う。
- 先生方が、いじめ防止に向けて、一生懸命に取り組んでいることが分かった。
- いじめは、早期発見が大事だと思った。学校は、保護者とのつながり（連携）を大切にしている。
- いじめなど、ことが起きた時にチャンスと捉え、子供を育てていくことが大切だと思う。
- 子供たちの自己肯定感を高める取組が大切だと思った。地域としても、何か貢献していきたい。
- 地域全体で子育てをしていく時代である。何か起きたときには、すぐに対応できるようにしたい。
- いじめについて、先生方が大変だと思った。社会全体で子供を守っていくことが必要であると感じた。
- 松陵の財産は人。風通しのよい横軸を強くしなくてはならない。子供会や町内会、PTAの横軸も強くしていきたいと思う。小学校や中学校に、頼ってばかりではいけないと思う。



学校評価関係者による授業参観



学校評価関係者委員会による「学校いじめ防止等基本方針」話し合いの様子

「学校いじめ防止等基本方針」の改定に向けて追記したい事項

- ①【学校の取組状況の評価】
→学校評価の評価項目に位置付け、学校のいじめ等防止対策の取組の見直しや改善を図る。
- ②【家庭や地域、関係機関との連携】
→学校、家庭、地域が連携したいじめ等防止対策を位置付け、取組の具体化を目指す。

※現行の「学校いじめ防止等基本方針」は、ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。
※夏休み明けには、新しい「学校いじめ防止等基本方針」（改訂版）を決定し、周知する予定です。